

● 2021年版 ●

# 健康管理事業 実績報告

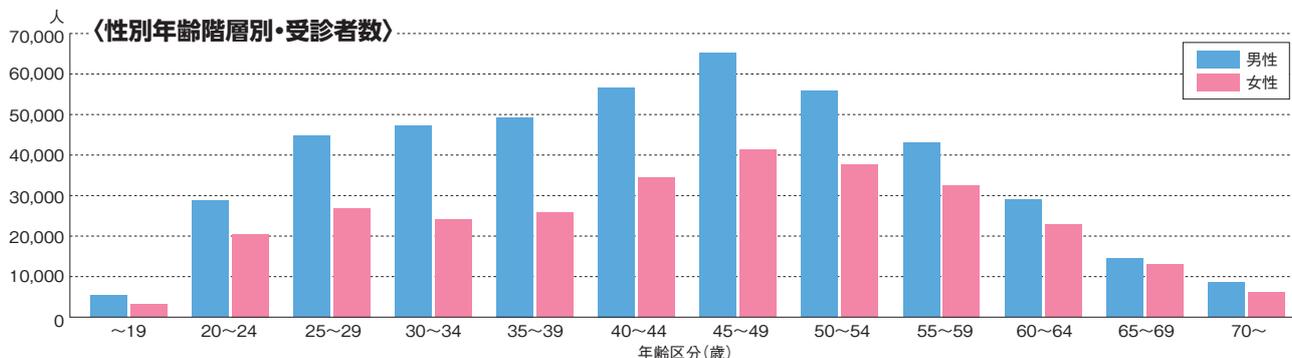


# 健康管理事業実績

## 定期健康診断受診状況

■2020年度(2020年4月～2021年3月)職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

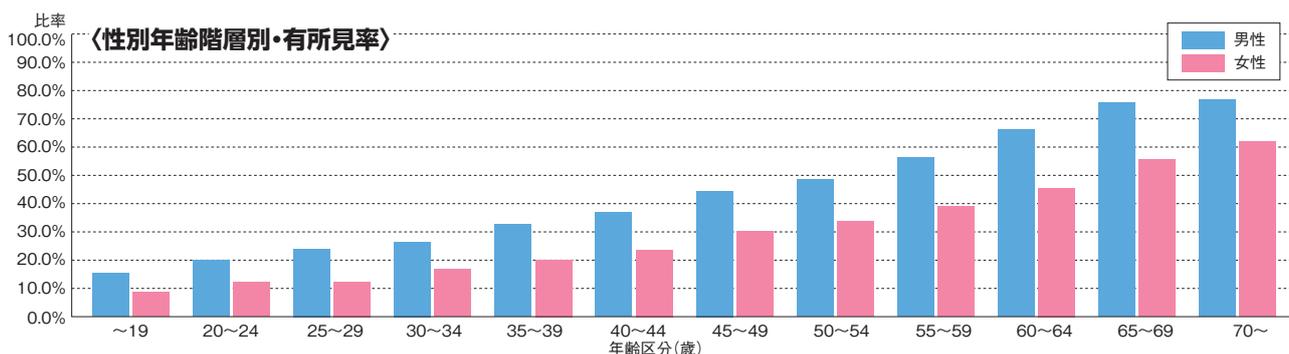
### 性別年齢階層別・受診者数と割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)
～19	4,790	1.1%	2,785	1.0%	7,575	1.0%
20～24	28,421	6.4%	20,754	7.2%	49,175	6.7%
25～29	44,197	9.9%	27,321	9.5%	71,518	9.7%
30～34	46,944	10.5%	24,044	8.3%	70,988	9.6%
35～39	49,354	11.0%	25,755	8.9%	75,109	10.2%
40～44	56,485	12.6%	34,537	12.0%	91,022	12.4%
45～49	65,270	14.6%	41,458	14.3%	106,728	14.5%
50～54	55,839	12.5%	37,604	13.0%	93,443	12.7%
55～59	43,620	9.7%	31,994	11.1%	75,614	10.3%
60～64	29,123	6.5%	23,489	8.1%	52,612	7.1%
65～69	14,998	3.4%	13,176	4.6%	28,174	3.8%
70～	8,414	1.9%	6,038	2.1%	14,452	2.0%
合計	447,455	100.0%	288,955	100.0%	736,410	100.0%

■集計対象の受診者総数は、736,410人(男性447,455人、女性288,955人)でした。

### 性別年齢階層別・所見のあった者の割合

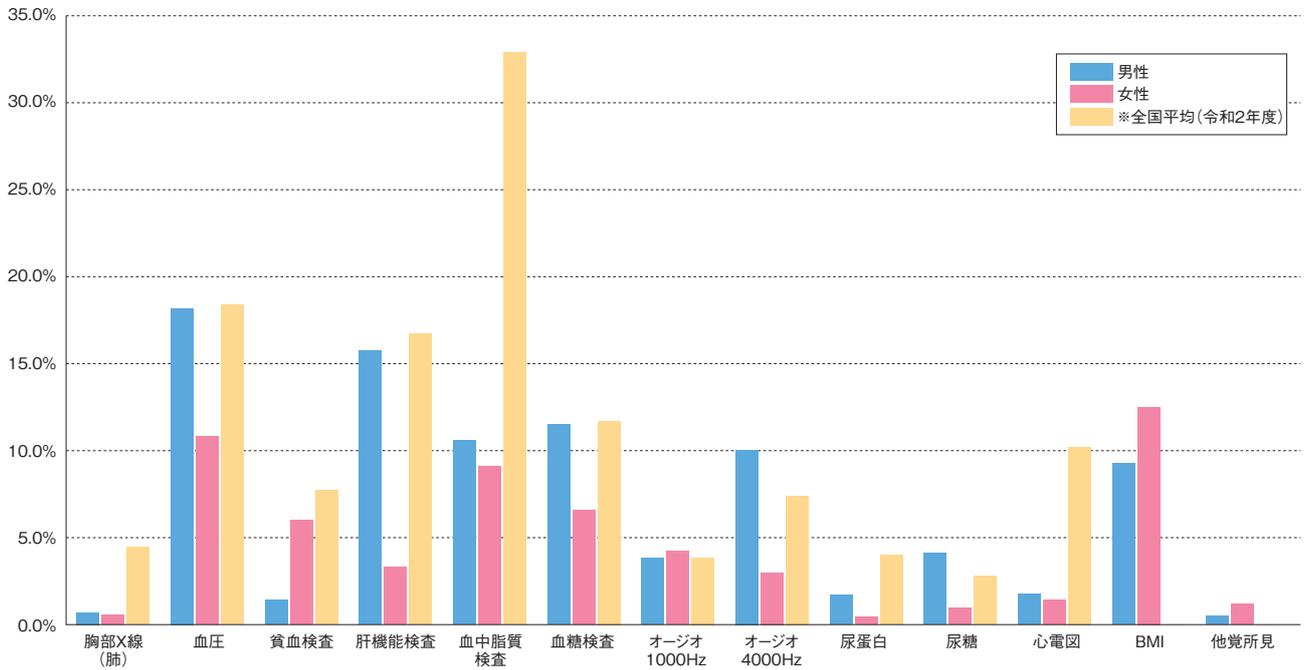


年齢(歳)	男性		女性		合計	
	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)
～19	762	15.9%	252	9.0%	1,014	13.4%
20～24	5,786	20.4%	2,561	12.3%	8,347	17.0%
25～29	10,057	22.8%	3,752	13.7%	13,809	19.3%
30～34	12,508	26.6%	3,944	16.4%	16,452	23.2%
35～39	15,540	31.5%	5,153	20.0%	20,693	27.6%
40～44	20,787	36.8%	8,185	23.7%	28,972	31.8%
45～49	28,739	44.0%	12,531	30.2%	41,270	38.7%
50～54	27,554	49.3%	12,857	34.2%	40,411	43.2%
55～59	24,620	56.4%	12,463	39.0%	37,083	49.0%
60～64	19,127	65.7%	10,755	45.8%	29,882	56.8%
65～69	11,336	75.6%	7,321	55.6%	18,657	66.2%
70～	6,458	76.8%	3,719	61.6%	10,177	70.4%
合計	183,274	41.0%	83,493	28.9%	266,767	36.2%

■健診項目全体の有所見率は36.2%(男性41.0%、女性28.9%)でした。

全国有所見率58.5%(全国平均:「令和3年度 労働衛生のしおり」)よりと比較すると、KKC有所見率(36.2%)は低くなっています。

## 性別健診項目別・有所見率

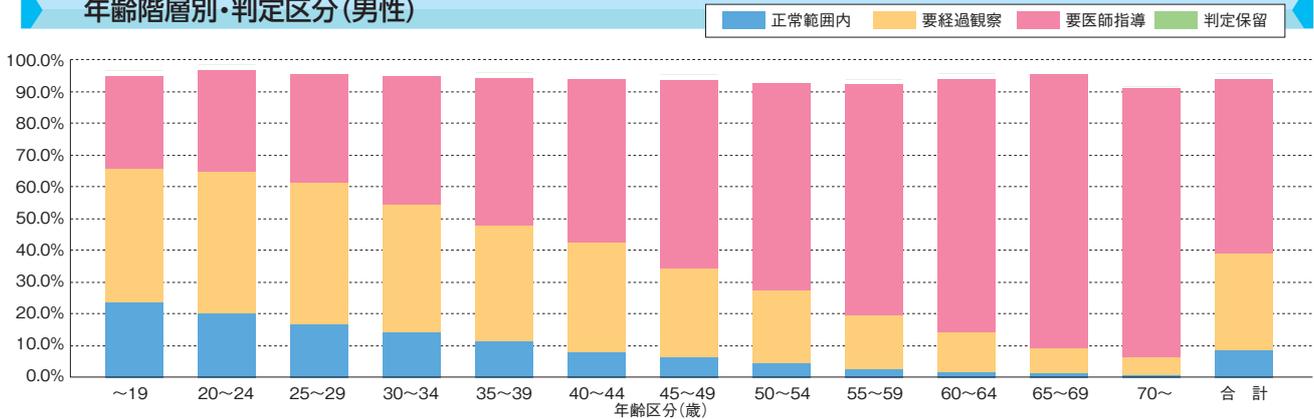


性別	胸部X線 (肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ 1000Hz	オージオ 4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.6%	17.8%	1.4%	15.7%	10.7%	12.0%	3.8%	10.1%	2.0%	4.1%	2.2%	9.2%	0.7%
女性	0.5%	10.8%	5.6%	3.6%	9.1%	7.2%	4.1%	3.1%	0.6%	1.4%	1.8%	12.4%	1.2%
*全国平均 (令和2年度)	4.5%	17.9%	7.7%	17.0%	33.3%	12.1%	3.9%	7.4%	4.0%	3.2%	10.3%	—	—

※全国平均:[令和3年度 労働衛生のしおり]より

■胸部X線検査(肺)有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。  
血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

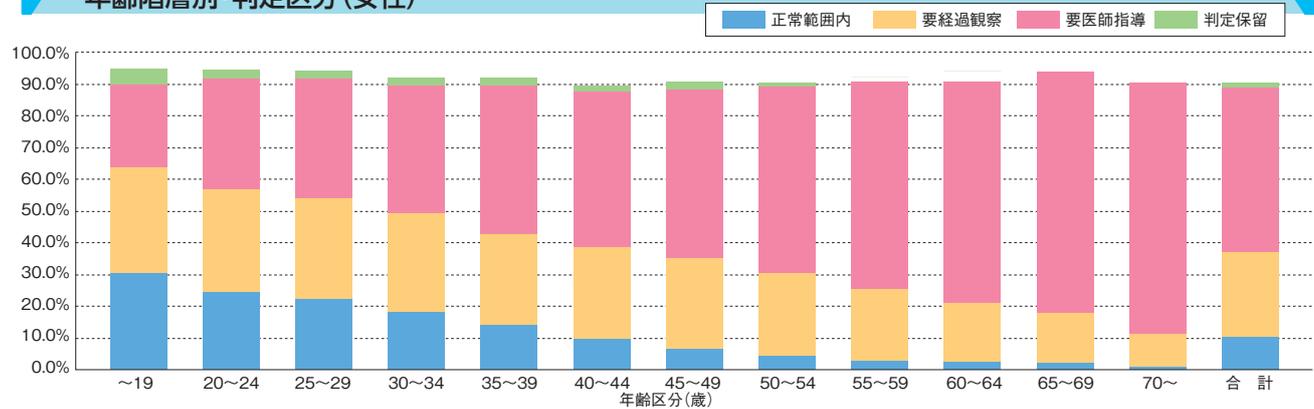
### 年齢階層別・判定区分(男性)



年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	4,790	1,129	23.6%	1,982	41.4%	1,471	30.7%	0	0.0%
20~24	28,421	5,768	20.3%	12,079	42.5%	9,778	34.4%	0	0.0%
25~29	44,197	7,726	17.5%	18,921	42.8%	15,836	35.8%	0	0.0%
30~34	46,944	6,790	14.5%	19,443	41.4%	18,469	39.3%	0	0.0%
35~39	49,354	4,995	10.1%	19,045	38.6%	22,458	45.5%	11	0.0%
40~44	56,485	4,047	7.2%	19,675	34.8%	29,335	51.9%	33	0.1%
45~49	65,270	3,108	4.8%	19,256	29.5%	38,897	59.6%	28	0.0%
50~54	55,839	1,822	3.3%	12,933	23.2%	36,648	65.6%	17	0.0%
55~59	43,620	980	2.2%	7,468	17.1%	31,619	72.5%	14	0.0%
60~64	29,123	373	1.3%	3,608	12.4%	23,341	80.1%	7	0.0%
65~69	14,998	135	0.9%	1,258	8.4%	12,874	85.8%	4	0.0%
70~	8,414	54	0.6%	437	5.2%	7,102	84.4%	1	0.0%
合計	447,455	36,927	8.3%	136,105	30.4%	247,828	55.4%	115	0.0%

■2020年度(合計)の要医師指導は55.4%で、前年に比べ0.5ポイント増加しています。  
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

### 年齢階層別・判定区分(女性)



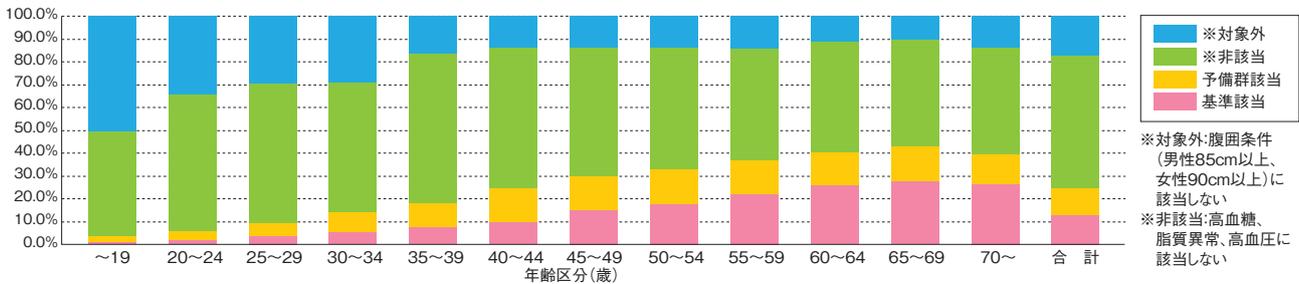
年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	2,785	851	30.6%	919	33.0%	739	26.5%	127	4.6%
20~24	20,754	5,304	25.6%	6,602	31.8%	7,168	34.5%	719	3.5%
25~29	27,321	6,035	22.1%	8,668	31.7%	10,395	38.0%	827	3.0%
30~34	24,044	4,437	18.5%	7,422	30.9%	9,777	40.7%	631	2.6%
35~39	25,755	3,612	14.0%	7,442	28.9%	11,741	45.6%	687	2.7%
40~44	34,537	3,415	9.9%	9,915	28.7%	16,608	48.1%	716	2.1%
45~49	41,458	2,990	7.2%	11,034	26.6%	22,497	54.3%	732	1.8%
50~54	37,604	1,701	4.5%	9,352	24.9%	22,430	59.6%	266	0.7%
55~59	31,994	934	2.9%	6,912	21.6%	20,929	65.4%	27	0.1%
60~64	23,489	559	2.4%	4,254	18.1%	16,497	70.2%	2	0.0%
65~69	13,176	271	2.1%	2,087	15.8%	9,978	75.7%	0	0.0%
70~	6,038	45	0.7%	625	10.4%	4,792	79.4%	1	0.0%
合計	288,955	30,154	10.4%	75,232	26.0%	153,551	53.1%	4,735	1.6%

■2020年度(合計)の要医師指導は53.1%で、前年に比べ0.8ポイント増加しています。  
女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと考えられます。  
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

# 性別年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

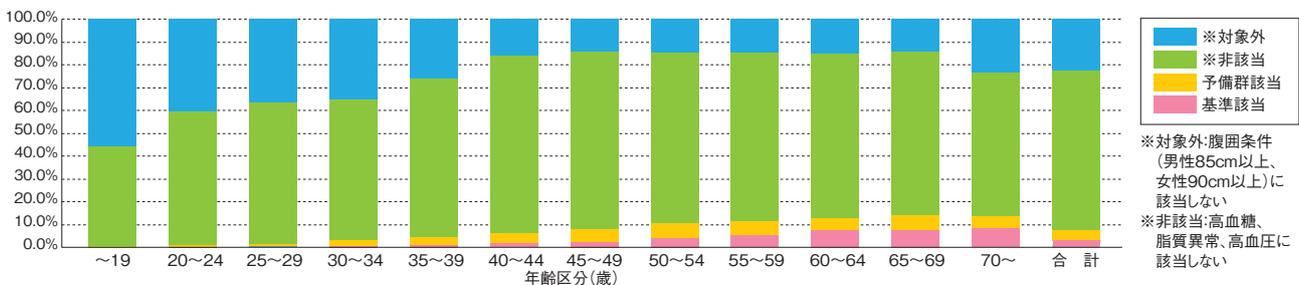
## 男性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	4,790	41	0.9%	108	2.3%	2,197	45.9%	2,444	51.0%
20～24	28,421	476	1.7%	1,126	4.0%	17,285	60.8%	9,534	33.5%
25～29	44,197	1,383	3.1%	2,790	6.3%	26,422	59.8%	13,602	30.8%
30～34	46,944	2,141	4.6%	4,154	8.8%	26,922	57.3%	13,727	29.2%
35～39	49,354	3,480	7.1%	5,998	12.2%	30,990	62.8%	8,886	18.0%
40～44	56,485	5,794	10.3%	7,995	14.2%	35,185	62.3%	7,511	13.3%
45～49	65,270	9,457	14.5%	9,939	15.2%	37,061	56.8%	8,813	13.5%
50～54	55,839	10,251	18.4%	8,428	15.1%	28,857	51.7%	8,303	14.9%
55～59	43,620	9,491	21.8%	6,368	14.6%	21,547	49.4%	6,214	14.2%
60～64	29,123	7,315	25.1%	4,331	14.9%	14,310	49.1%	3,167	10.9%
65～69	14,998	4,120	27.5%	2,223	14.8%	7,229	48.2%	1,426	9.5%
70～	8,414	2,233	26.5%	1,092	13.0%	3,793	45.1%	1,296	15.4%
合計	447,455	56,182	12.6%	54,552	12.2%	251,798	56.3%	84,923	19.0%

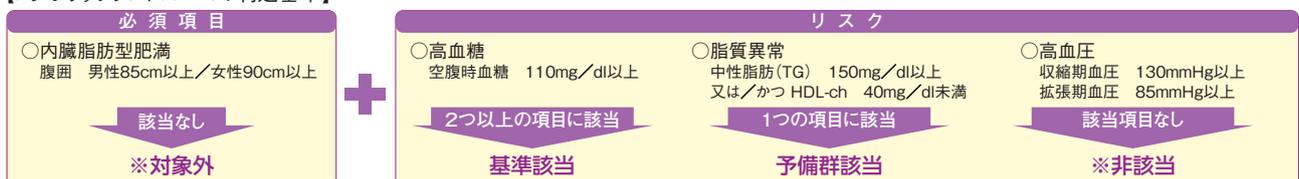


## 女性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	2,785	5	0.2%	10	0.4%	1,187	42.6%	1,583	56.8%
20～24	20,754	28	0.1%	105	0.5%	12,427	59.9%	8,194	39.5%
25～29	27,321	90	0.3%	239	0.9%	16,948	62.0%	10,044	36.8%
30～34	24,044	166	0.7%	389	1.6%	15,122	62.9%	8,367	34.8%
35～39	25,755	303	1.2%	613	2.4%	18,227	70.8%	6,612	25.7%
40～44	34,537	602	1.7%	1,160	3.4%	27,442	79.5%	5,333	15.4%
45～49	41,458	1,144	2.8%	1,880	4.5%	32,702	78.9%	5,732	13.8%
50～54	37,604	1,595	4.2%	2,078	5.5%	28,574	76.0%	5,357	14.2%
55～59	31,994	1,801	5.6%	1,764	5.5%	23,813	74.4%	4,616	14.4%
60～64	23,489	1,663	7.1%	1,207	5.1%	17,147	73.0%	3,472	14.8%
65～69	13,176	1,080	8.2%	793	6.0%	9,535	72.4%	1,768	13.4%
70～	6,038	531	8.8%	275	4.6%	3,792	62.8%	1,440	23.8%
合計	288,955	9,008	3.1%	10,513	3.6%	206,916	71.6%	62,518	21.6%



### 【メタボリックシンドロームの判定基準】



# 労災二次健康診断

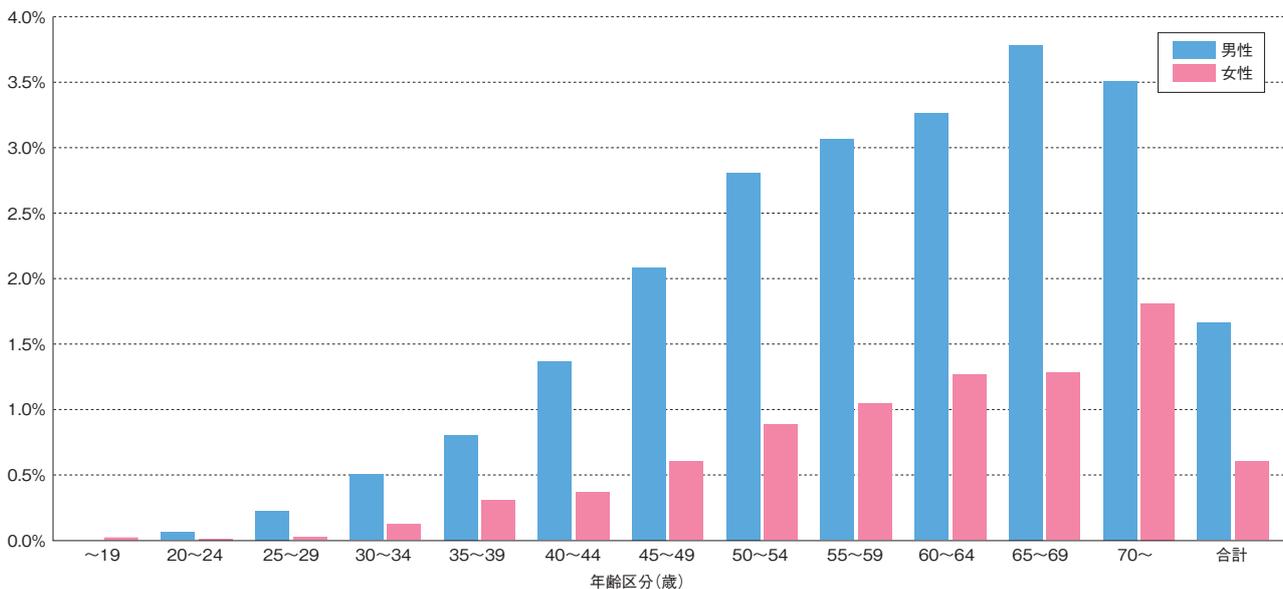
## 労災二次健康診断対象者

■下記のガイドラインが示す1～4の項目全てを満たす受診者を対象とし、脳血管疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。

2020年度の検査対象者の割合は、受診者の1.3%(男性1.7% 女性0.6%)、前年(受診者の1.1%(男性1.5% 女性0.5%))と大きな変化は認めません。

項目	年齢(歳)	男性			女性			合計		
		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)	
			人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)
労災二次対象者	～19	4,790	0	0.0%	2,785	1	0.0%	7,575	1	0.0%
	20～24	28,421	21	0.1%	20,754	4	0.0%	49,175	25	0.1%
	25～29	44,197	103	0.2%	27,321	10	0.0%	71,518	113	0.2%
	30～34	46,944	220	0.5%	24,044	30	0.1%	70,988	250	0.4%
	35～39	49,354	392	0.8%	25,755	76	0.3%	75,109	468	0.6%
	40～44	56,485	741	1.3%	34,537	123	0.4%	91,022	864	0.9%
	45～49	65,270	1,364	2.1%	41,458	247	0.6%	106,728	1,611	1.5%
	50～54	55,839	1,556	2.8%	37,604	328	0.9%	93,443	1,884	2.0%
	55～59	43,620	1,336	3.1%	31,994	336	1.1%	75,614	1,672	2.2%
	60～64	29,123	944	3.2%	23,489	295	1.3%	52,612	1,239	2.4%
	65～69	14,998	566	3.8%	13,176	169	1.3%	28,174	735	2.6%
70～	8,414	291	3.5%	6,038	108	1.8%	14,452	399	2.8%	
合計		447,455	7,534	1.7%	288,955	1,727	0.6%	736,410	9,261	1.3%

## 階層別・労災二次健診対象者(4項目該当)



### 【労災二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン】

以下の検査の1～4の項目すべてを満たすもの

1. 血 圧：収縮期血圧140mmHgまたは、拡張期血圧90mmHg以上
2. 血中脂質：LDLコレステロール140mg/dl以上、又はHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
3. 血 糖：空腹時血糖値(食後8時間以上)：110mg/dl 食後血糖値(食後8時間未満)：140mg/dl以上\*  
HbA1c(NGSP)：6.0%以上
4. 肥 満：BMI25以上、二次健診時に内臓脂肪型肥満の判定として、ウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

#### 【対象者除外条件】

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血など他の脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」  
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

\*KKC有所見追加基準



# 特殊健康診断

## 概要

特殊健康診断の受診者数は、2018年度までは概ね増加傾向にありましたが、2019年度については新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行による特殊健康診断実施時期の延期の影響もあり、前年同期間に比べ、KKCの特殊健康診断受診者数は減少しました。2020年も引き続き減少傾向にありますが、特定化学物質健康診断受診者数については、新規受託に伴い増加しています。

## 1. 特殊健康診断の所見率

### ①じん肺健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、1/1以上の有所見率は0.32%でした。厚生労働省の有所見者率(令和2年度)は0.4%です。

対象物質	受診者数	管理区分(小陰影区分)											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,081	0	7,031	26	0	8	4	3	8	0	0	1	0
	比率	0.00%	99.29%	0.37%	0.00%	0.11%	0.06%	0.04%	0.11%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

### ②有機溶剤健康診断

■各管理区分の内訳は、B1が著しく減少し、Aが増加する結果となりました。2020年7月から施行された有機溶剤中毒予防規則の改正により、健診項目の変更によるものと推察します。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
有機溶剤	42,920	31,961	2,295	0	0	38	7,270	1,356
	比率	74.47%	5.35%	0.00%	0.00%	0.09%	16.94%	3.16%

### ③鉛健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
鉛	2,576	2,002	0	0	0	1	521	52
	比率	77.72%	0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	20.23%	2.02%

### ④特定化学物質等健康診断

■前年に比べ受診者数が増加しているのは、新規受託によるものです。各管理区分の内訳は、B1がやや減少し、Aが増加する結果となりましたが、2020年7月から施行された特定化学物質障害予防規則の改正による健診項目の変更によるものと推察します。

対象物質	※延べ受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
特定化学物質	57,564	44,163	2,052	1	0	26	10,095	1,227
	比率	76.72%	3.56%	0.00%	0.00%	0.05%	17.54%	2.13%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診者数で表記しています。

### ⑤石綿健康診断

■各管理区分の内訳は、Aが増加し、Tが減少する結果となりました。前年までは年々Aが減少し、Tが増加する傾向にあり、今後の推移を見る必要があります。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,505	2,843	0	3	0	0	1,522	137
	比率	63.11%	0.00%	0.07%	0.00%	0.00%	33.78%	3.04%

### ⑥電離放射線健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	7,909	5,877	244	6	0	28	1,501	253
	比率	74.31%	3.09%	0.08%	0.00%	0.35%	18.98%	3.20%

### ⑦酸等取扱いの歯科健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科	4,925	8	1,295	3,569	50	11
	比率	0.16%	26.29%	72.47%	1.02%	0.22%

## 2. 指導勧奨による健康診断の所見率

### 紫外線・赤外線業務従事者健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線業務従事者	2,283	1,881	6	1	0	1	4	390
	比率	82.39%	0.26%	0.04%	0.00%	0.04%	0.18%	17.08%

### 騒音作業健康診断

■各管理区分の内訳は、Aが減少し、A'が増加する結果となりました。今後の推移を見る必要があります。

健康診断名	受診者数	管理区分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	12,638	3,959	4,820	2,694	488	282	0	0	119	276
	比率	31.33%	38.14%	21.32%	3.86%	2.23%	0.00%	0.00%	0.94%	2.18%

T：聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合（管理Rに属するものを除く）

T0：当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

### VDT作業健康診断／情報機器作業健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
VDT作業 情報機器作業	10,232	5,969	405	1,338	0	0	842	1,678
	比率	58.34%	3.96%	13.08%	0.00%	0.00%	8.23%	16.40%



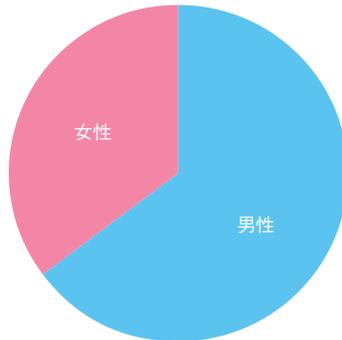
# ストレスチェック

## ストレスチェック集計(全般)

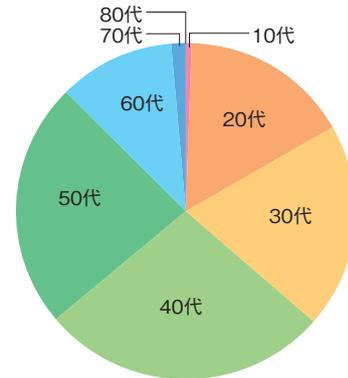
集計対象期間	2020/04/01 ~ 2021/03/31	受検者数	92,248	受検事業所数	1,052
--------	-------------------------	------	--------	--------	-------

性別	受検者数	割合
男性	60,366	65.4%
女性	31,882	34.6%

■受検割合:全体集計



■年齢別受検割合:全体集計

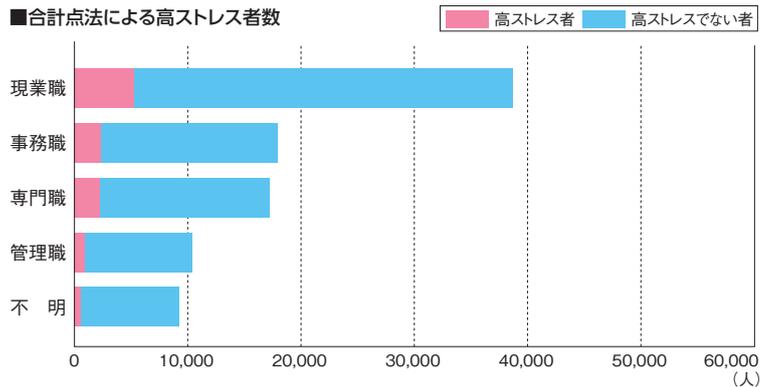


年齢階層	受検者数	割合
10代	615	0.7%
20代	14,485	15.7%
30代	17,967	19.5%
40代	24,623	26.7%
50代	22,730	24.6%
60代	10,555	11.4%
70代	1,247	1.4%
80代	26	0.0%

■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,030	38,437	13.1%
事務職	2,076	17,512	11.9%
専門職	1,943	16,692	11.6%
管理職	1,026	10,439	9.8%
不明	674	9,168	7.4%

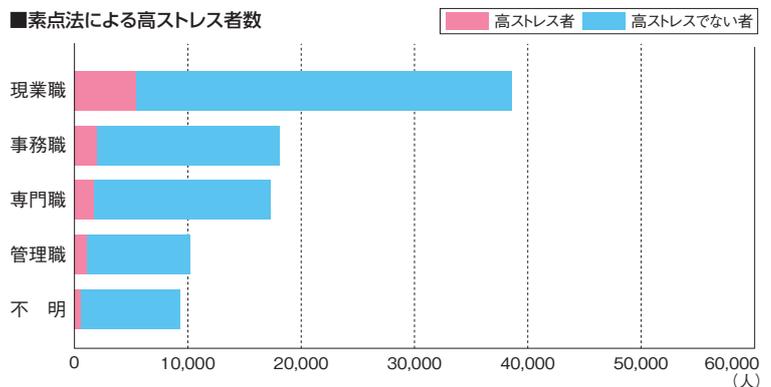
■合計点法による高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,396	38,437	14.0%
事務職	1,963	17,512	11.2%
専門職	1,920	16,692	11.5%
管理職	1,126	10,439	10.8%
不明	662	9,168	7.2%

■素点法による高ストレス者数



### 高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-労働安全衛生法に基づくストレスチェック制定実施マニュアルより抜粋-

■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

出典:平成19年度総括・分担報告書

表4.職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値および標準集団との比較より  
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

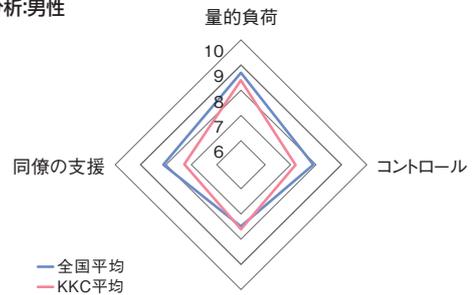
■集団分析KKCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.3	7.2	7.6	7.3
女性	7.9	7.5	7.9	7.0

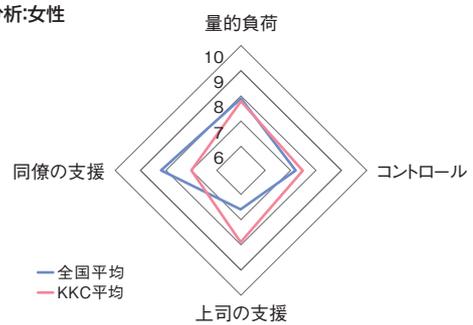
■全国平均とKKC平均の差

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.4	0.7	-0.1	0.8
女性	0.0	-0.3	-1.3	1.2

■集団分析:男性



■集団分析:女性



■集団分析職種別全国平均(東京医科大学より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
女性	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0

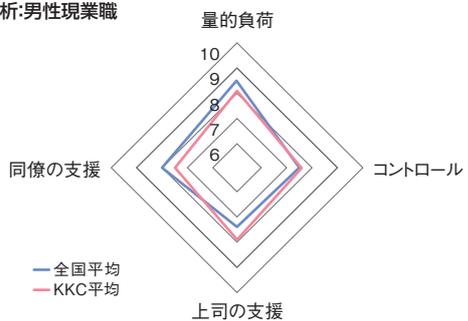
■集団分析KKCにて受検された事業所職種別の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.0	7.5	7.9	7.5
	事務職	8.2	7.1	7.4	7.3
	専門職	8.6	7.0	7.3	7.1
	管理職	8.9	6.7	7.3	7.1
	不明	8.1	7.4	7.8	7.4
女性	現業職	7.7	7.9	8.2	7.1
	事務職	7.5	7.2	7.7	7.1
	専門職	8.7	7.4	7.4	6.6
	管理職	9.3	6.9	7.4	7.0
	不明	7.7	7.6	8.0	7.1

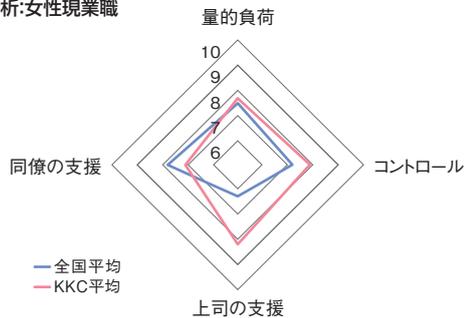
■全国平均とKKC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	0.5	0.0	-0.5	0.5
	事務職	0.4	0.9	0.3	0.9
	専門職	0.1	0.9	0.1	0.9
	管理職	0.2	1.7	0.7	1.3
女性	現業職	-0.2	-0.7	-1.9	0.7
	事務職	0.1	0.4	-0.9	1.0
	専門職	-0.8	-0.2	-0.7	1.6
	管理職	0.0	0.8	-0.7	1.0

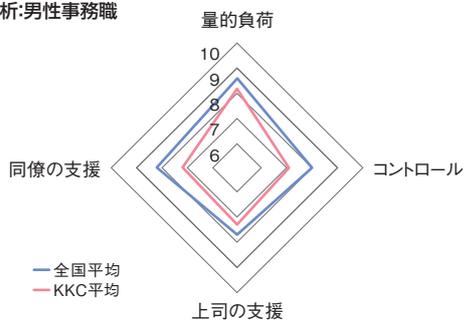
■ 集団分析: 男性現業職



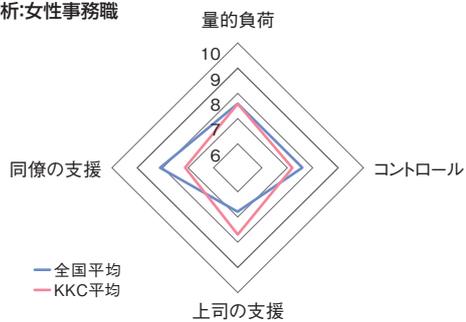
■ 集団分析: 女性現業職



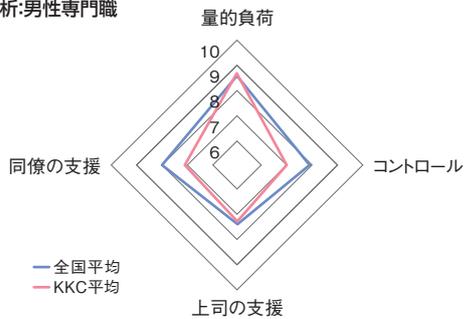
■ 集団分析: 男性事務職



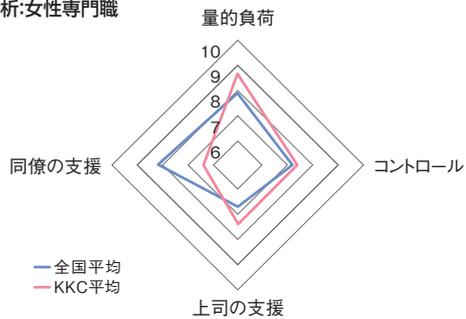
■ 集団分析: 女性事務職



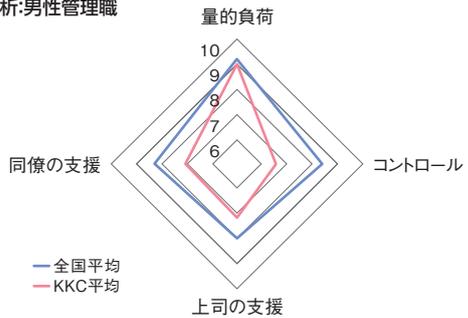
■ 集団分析: 男性専門職



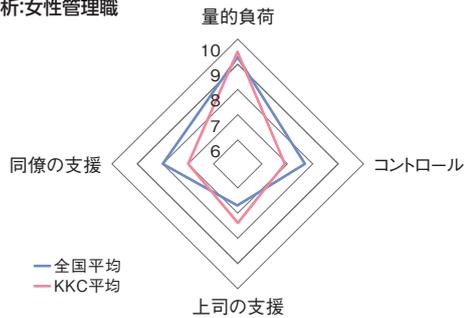
■ 集団分析: 女性専門職



■ 集団分析: 男性管理職



■ 集団分析: 女性管理職



KKC平均において前年度と大きな差はありませんでした。性別や職種によってはパターンに違いが認められます。



**KKC** 近畿健康管理センター

URL <https://www.zai-kkc.or.jp/>

本冊子に関する情報等は、  
下記のホームページからご覧になれます。

[https://www.zai-kkc.or.jp/before/annual\\_report/Nenpo.htm](https://www.zai-kkc.or.jp/before/annual_report/Nenpo.htm)



- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷